

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年10月19日（火）

2 確認箇所

1～4号機原子炉建屋周辺の線量表示器設置箇所（1，2号機海側、
3，4号機海側、事務本館南側、3，4号機西側法面）

3 確認項目

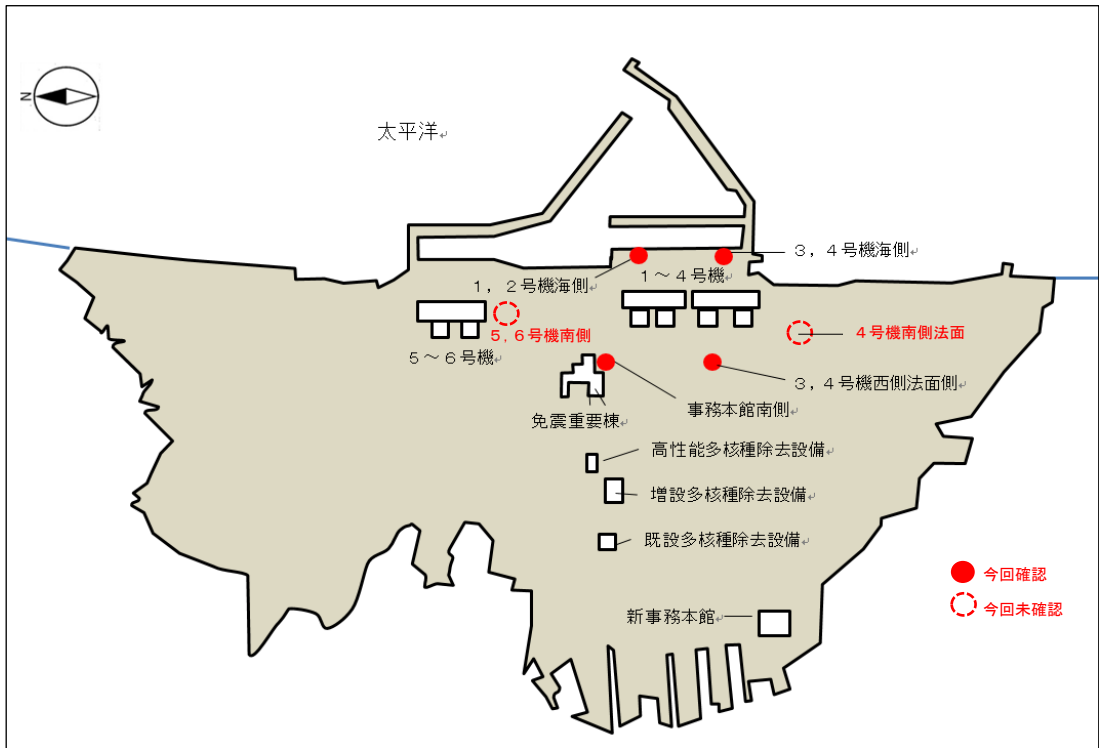
線量表示器の運用状況

4 確認結果の概要

1～3号機原子炉格納容器内の燃料等の未臨界確認は、格納容器ガス管理設備の希ガスモニタにより行われているが、希ガスモニタで監視できない場合の代替措置として、敷地境界付近に設置されたモニタリングポストの空間線量率を監視するなどの方法が定められている。また、東京電力はモニタリングポストを補完することを目的として、平成30年11月から自主的に原子炉建屋周辺に配備した線量表示器の一部（6箇所）を活用する運用を行っている。

今回、1～4号機原子炉建屋周辺の線量表示器4箇所の運用状況を確認した。（前回確認：令和2年2月18日）（図1）

- ・所定の位置に配置された線量表示器により空間線量率の測定が行われていた。（写真1）
- ・線量表示器には校正年月日が表示されており、定期的に校正が行われていた。（写真2）
- ・確認した範囲で線量表示器や周囲の状況に異常は見られなかった。



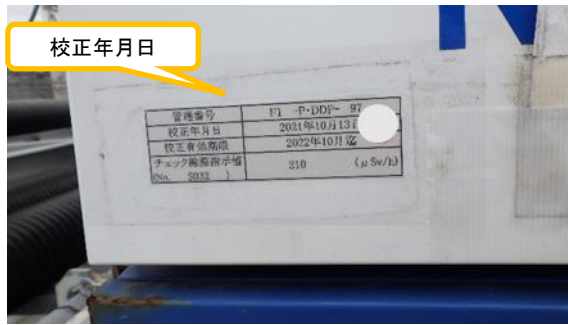
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
線量表示器設置状況①
(3, 4号機西側法面)



(写真1-2)
線量表示器設置状況②
(3, 4号機海側)



(写真 2)
校正年月日の表示

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。